

# 景気動向調査結果

(平成26年1月分)

長野県商工労働部

この調査は、県内企業 900 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業 600 社）を対象に、平成 26 年 1 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 26 年 2 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査からは、従来の「製造業」に、「建設業」、「情報サービス業」、「小売業・卸売業」、「飲食業・宿泊業」も加えて実施しております。

回答企業数は、555 社（製造業 241 社（うち面接 64 社）、建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業 314 社）で、回答率は 61.7 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県商工労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業について

長野県商工労働部経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2964）

# 平成26年1月の景気動向

## 1 総論

長野県経済は、回復に向けた動きが広がっています。

製造業では、自動車関連などの国内外需要の増加により、電機・電子、一般機械、自動車部品を中心に、受注、生産が回復しています。

非製造業では、消費税率引上げ前の駆け込み需要やビジネスニーズの回復により、業況は全業種で改善しました。

## 2 製造業

### (1) 業界の業況

前年同期（25年1月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差、%）は37.4となり、前回調査時（25年10月）の10.0より27.4ポイント改善し、2期連続のプラスとなりました。

3か月前（25年10月）と比較したD Iは6.8となり、前回調査時の2.4より4.4ポイント改善し、4期連続のプラスとなりました。

なお、3か月後（26年4月）の予想では、円安傾向に伴う輸出環境の改善などへの期待感はあるものの、原材料価格上昇や消費税率引上げに伴う景気の先行き不安などを背景に、D Iは△7.1となりました。

### 〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連は、タブレット型端末の需要増加に伴い、受注、生産が減少しています。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により、受注、生産の持ち直しがみられます。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、家電向けの一部で消費税率引上げ前の駆け込み需要に伴い、受注、生産の持ち直しがみられるほか、自動車関連向けを中心に、受注、生産が回復しています。

イ 一般機械では、工作機械は、自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産が回復しています。建設機械は、国内向けで、復興需要の継続などにより、受注、生産が増加しているほか、海外向けで、北米を中心とした需要の増加により、受注、生産が増加しています。

ウ 精密では、時計は、高価格帯製品の需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。レンズは、自動車関連向けで、受注、生産の持ち直しがみられるものの、プロジェクター向けでは、製品価格低下による収益率の低下がみられます。計器は、産業機械関連向けの圧力計で、受注、生産の持ち直しがみられます。

エ 自動車部品では、新車投入や消費税率引上げ前の駆け込み需要に伴う国内需要の増加や、北米やアジア地域を中心とした海外需要の持ち直しにより、受注、生産が増加しています。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産の減少がみられます。酒類は、一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。飲料は、季節的要因により、ペットボトル飲料の受注、生産の減少がみられます。

## (2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が53.0%と前回(39.0%)より増加し、「減少」とする企業が14.8%と前回(26.4%)より減少した結果、D Iは前回(12.6)より大幅に改善し、38.2となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が29.4%と前回(27.1%)より増加し、「減少」とする企業が22.6%と前回(23.1%)よりやや減少した結果、D Iは前回(4.0)より改善し、6.8となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が21.2%、「減少」とする企業が26.3%となった結果、D Iは前回予想(△13.8)より改善し、△5.1となりました。

## (3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が52.3%と前回(41.1%)より増加し、「減少」とする企業が15.9%と前回(26.2%)より減少した結果、D Iは前回(14.9)より改善し、36.4となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が29.0%と前回(27.0%)より増加し、「減少」とする企業も25.6%と前回(20.2%)より増加した結果、D Iは前回(6.8)より悪化し、3.4となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が24.8%、「減少」とする企業が28.6%となった結果、D Iは前回予想(△13.3)より改善し、△3.8となりました。

## (4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が10.1%と前回(7.8%)より増加し、「安い」とする企業が27.4%と前回(28.6%)より減少した結果、D Iは前回(△20.8)より改善し、△17.3となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が6.3%と前回(3.3%)より増加し、「安い」とする企業も15.2%と前回(12.2%)より増加した結果、D Iは前回(△8.9)と同じ、△8.9となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が4.3%、「安い」とする企業が17.4%となった結果、D Iは前回予想(△13.1)と同じ、△13.1となりました。

## (5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が16.0%と前回(10.7%)より増加し、「苦しい」とする企業が15.2%と前回(18.6%)より減少した結果、D Iは前回(△7.9)より改善し、0.8となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が9.1%と前回(5.8%)より増加し、「苦しい」とする企業も15.5%と前回(12.8%)より増加した結果、D Iは前回(△7.0)よりやや改善し、△6.4となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が7.3%、「苦しい」とする企業が12.9%となった結果、D Iは前回予想(△14.5)より改善し、△5.6となりました。

## (6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が31.4%と前回(22.7%)より増加し、「低下」とする企業が31.0%と前回(38.5%)より減少した結果、D Iは前回(△15.8)より改善し、0.4となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が16.8%と前回(9.8%)より増加し、「低下」とする企業も31.1%と前回(27.3%)より増加した結果、D Iは前回(△17.5)より改善し、△14.3となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が10.5%、「低下」とする企業が26.1%となった結果、D Iは前回予想(△24.0)より改善し、△15.6となりました。

## (7) 製造業の業種別動向

### 電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) パソコン関連は、タブレット型端末の需要増加に伴い、受注、生産が減少しています。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により、受注、生産の持ち直しがみられます。
- (半導体関連) デジタル家電向けで、需要の減少により、受注、生産が減少しているものの、自動車関連向けや産業用途では、受注、生産が回復しています。
- (プリント基板) 産業用途で、受注、生産が弱含んでいるものの、情報機器では、スマートフォン向けで、海外需要の増加により、受注、生産が増加しています。
- (抵抗器・コンデンサ等) 家電向けの一部で、消費税率引上げ前の駆け込み需要に伴い、受注、生産の持ち直しがみられます。自動車関連向けでは、受注、生産の回復がみられるほか、エネルギー関連向けで、太陽光発電の普及拡大に伴い、受注、生産が増加しています。
- (モーター等) 家電向けの一部で、アジアを中心とした新興国での需要増加や消費税率引上げ前の駆け込み需要に伴い、受注、生産の持ち直しがみられるほか、産業用途や自動車関連向けで、受注、生産が回復しています。
- (その他) カーナビゲーションは、円安傾向に伴う輸出環境の改善や、北米での需要の増加により、受注、生産が増加しています。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

### 一般機械

- (工作機械) 自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産が回復しています。
- (金 型) 自動車関連向けは、受注、生産が低調に推移しているほか、価格競争激化による収益率の低下もみられます。
- (建設機械) 国内向けで、復興需要の継続などにより、受注、生産が増加しているほか、海外向けで、北米を中心とした需要の増加により、受注、生産が増加しています。
- (農業用機械等) 国内向けで、需要の増加により、受注、生産が増加しているほか、海外向けで、北米での需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。

<p><b>精 密</b> (時 計)</p>	<p>腕時計は、高価格帯製品の需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。</p>
<p>(レ ン ズ)</p>	<p>自動車関連向けで、受注、生産の持ち直しがみられるものの、プロジェクター向けでは、製品価格低下による収益率の低下がみられます。</p>
<p>(計 器)</p>	<p>圧力計は、産業機械関連向けで、受注、生産の持ち直しがみられます。LP ガスメーターは、季節的要因により、受注、生産の減少がみられます。</p>
<p><b>自 動 車 部 品</b></p>	<p>新車投入や消費税率引上げ前の駆け込み需要に伴う国内需要の増加や、北米やアジア地域を中心とした海外需要の持ち直しにより、受注、生産が増加しています。</p>
<p><b>食 料 品</b> (味 そ)</p>	<p>季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産の減少がみられます。</p>
<p>(酒 類)</p>	<p>清酒、ワインは、一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。</p>
<p>(飲 料)</p>	<p>季節的要因により、ペットボトル飲料の受注、生産の減少がみられます。</p>
<p><b>織 維 ・ 衣 服</b></p>	<p>ワイシャツは、季節的要因により、受注、生産が増加しています。</p>
<p><b>紙 ・ パ ル プ</b></p>	<p>ダンボールは、青果物向けで、季節的要因により、受注、生産の減少がみられます。</p>
<p><b>印 刷</b></p>	<p>印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。</p>
<p><b>そ の 他</b></p>	<p>プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで、受注、生産の増加がみられます。</p>

## 3 非製造業

### (1) 業界の業況

非製造業のD Iは、前年同期と比べ、すべての業種で改善し、平成23年の調査開始以来最も高い数値となりました。

前年同期（25年1月）と比較したD Iは $\Delta 3.6$ となり、前回調査時（25年10月）の $\Delta 22.0$ から18.4ポイント改善しました。

3か月前（25年10月）と比較したD Iは $\Delta 22.9$ となり、前回調査時の $\Delta 21.7$ と比較すると1.2ポイント悪化しました。

なお、3か月後（26年4月）の予想は、D Iは $\Delta 38.9$ と前回調査時の $\Delta 18.7$ と比較すると20.2ポイント悪化しています。

### (2) 各業界の動き

#### ア 建設業

建設業の業況感は、D Iが32.2と前回（26.8）より改善しました。

公共工事の受注及び住宅関連の消費税率引上げ前の駆け込み需要により工事量は高水準を維持しました。一方で、3か月後は技術者不足や消費税率引上げ後の受注停滞への懸念により、業況の悪化を見込む企業の割合が増加しています。

#### イ 情報サービス業

情報サービス業の業況感は、D Iが54.5と前回（20.0）より大幅に改善しました。

消費税率引上げ前の駆け込み需要に加え、パソコンの一部基本ソフトのサポート終了に伴う買換え需要により受注が好調であったことから、業況は前年同期を上回る企業の割合が増加しました。

#### ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況感は、D Iが $\Delta 16.3$ と前回（ $\Delta 36.3$ ）より大幅に改善しました。

小売業では、自動車販売店を中心に消費税率引上げ前の駆け込み需要がみられ、業況が前年同期を上回る企業の割合が増加しました。一方で、3か月後は税率引上げ後の消費意欲の低下により、業況の悪化を予想する企業が多くみられます。

卸売業では、製造業関連及び住宅関連を中心に業況が前年同期を上回る企業の割合が増加し、D Iは調査開始以来初めてプラスに転じました。

#### エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況感は、D Iが23.8と前回（0.0）より大幅に改善しました。

飲食業では、一般客に加え法人利用が好調な店舗もみられたことから前年同期に比べ業況が改善した企業の割合が増加し、D Iは調査開始以来初めてプラスに転じました。

宿泊業では、前回調査に引き続きビジネス客の利用が好調であったことから、客数及び売上高は前年同期を上回る企業の割合が増加しました。

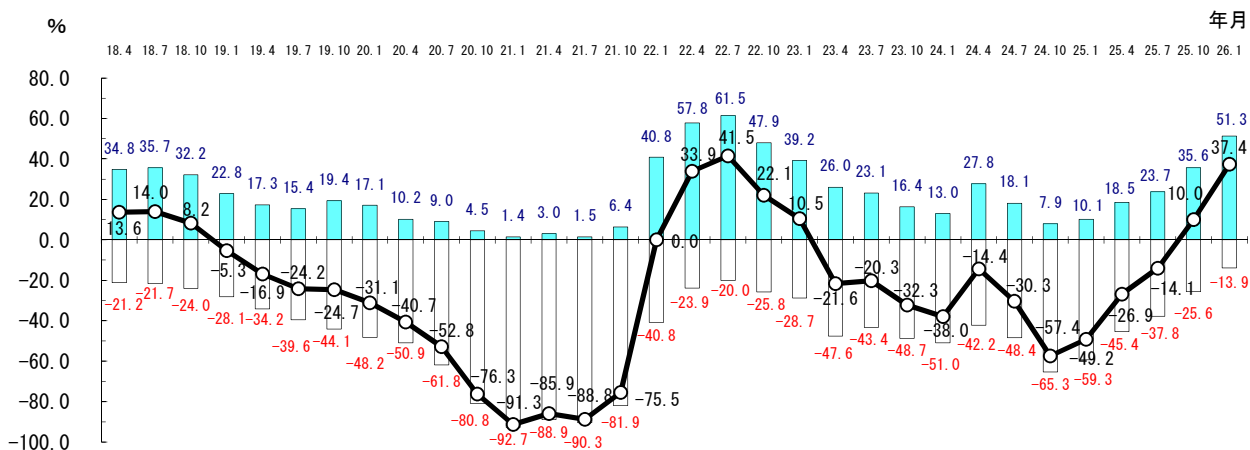
# 景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。  
折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

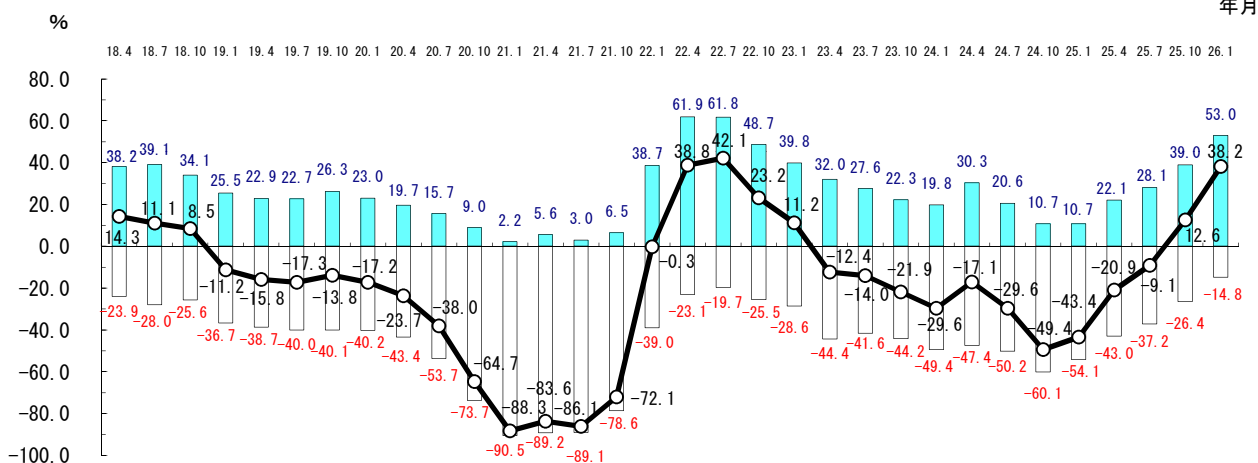
## 1 製造業

### (1) 全業種 前年同期に比べて

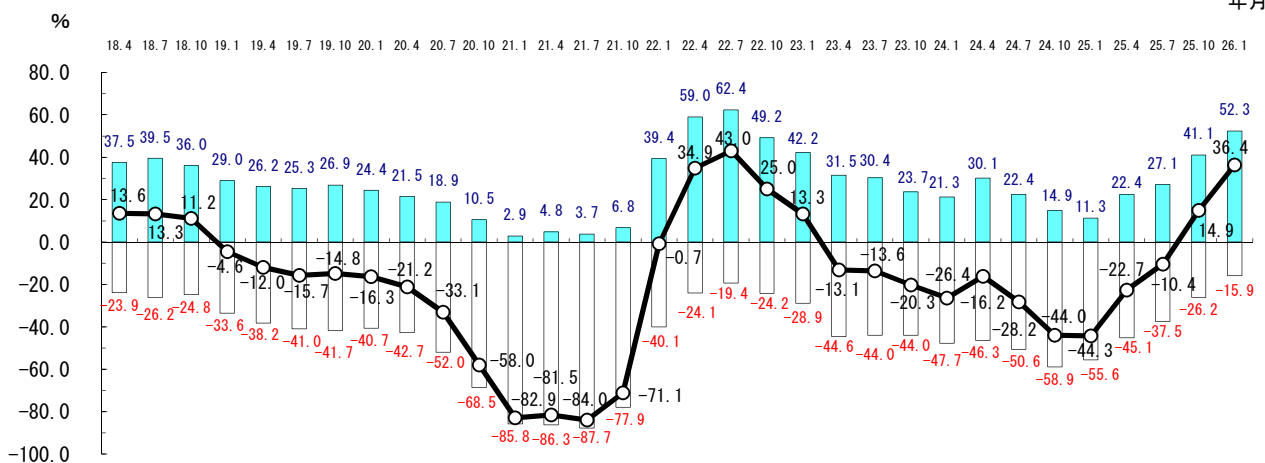
#### 業界の業況



#### 受注引合



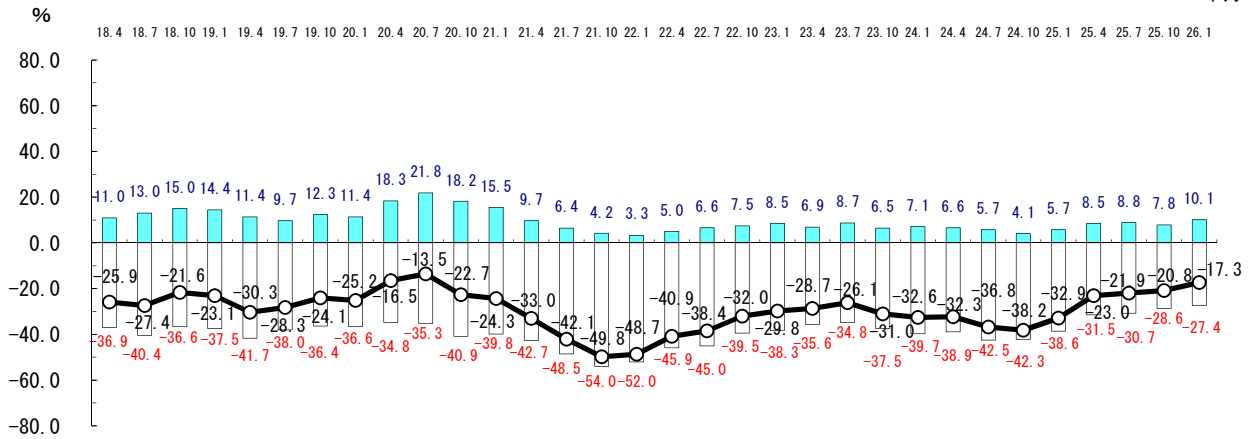
#### 生産量





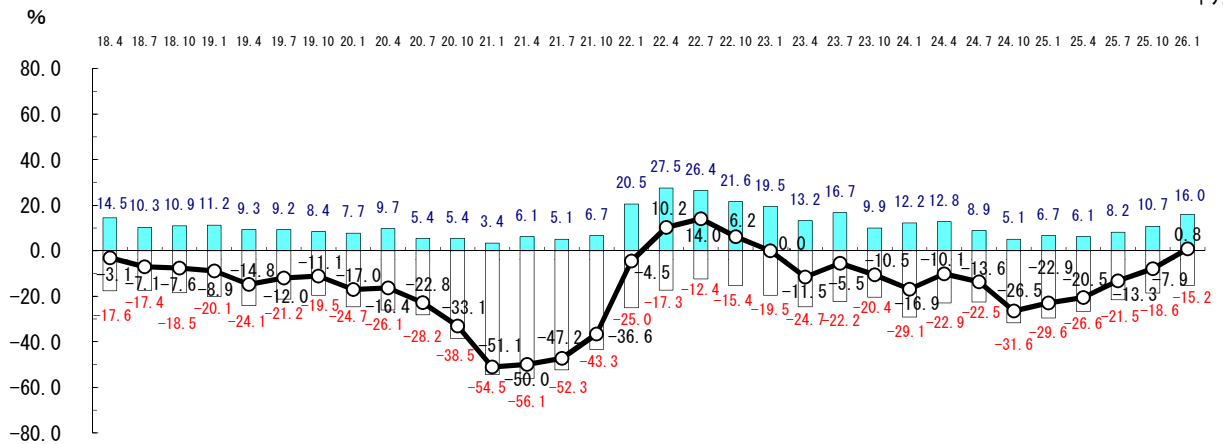
## 製品販売価格

年月



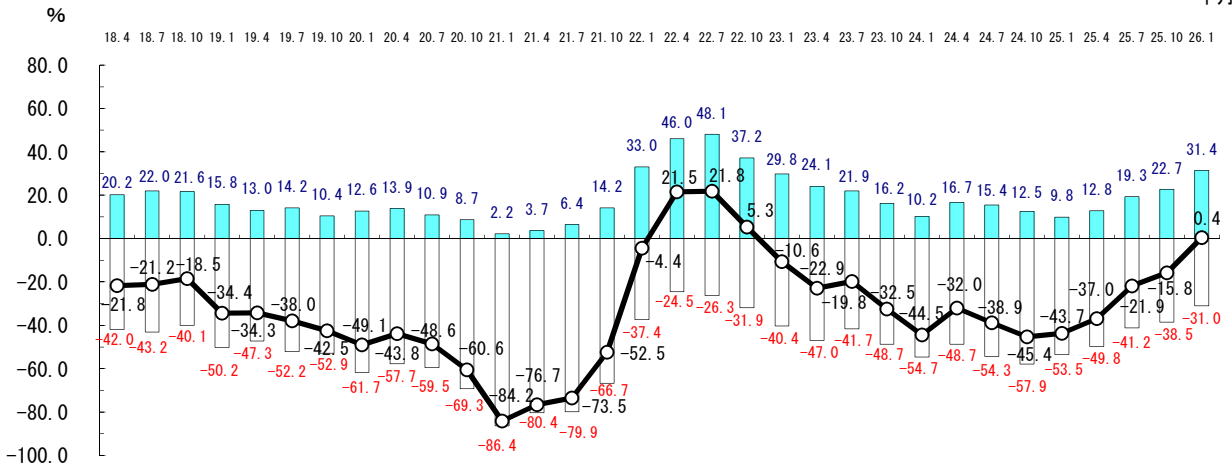
## 資金繰り

年月



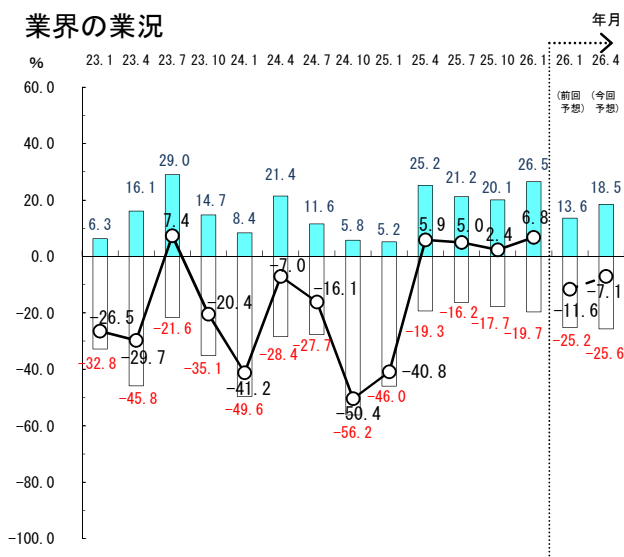
## 収益率

年月

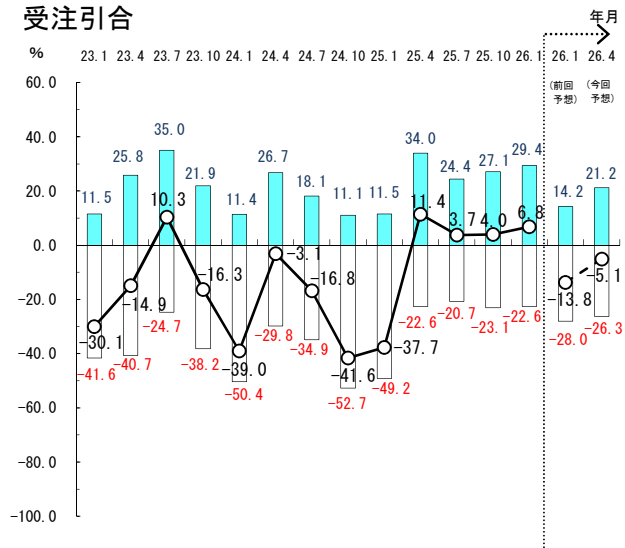


## (2) 全業種 3か月前に比べて及び3か月後の予想

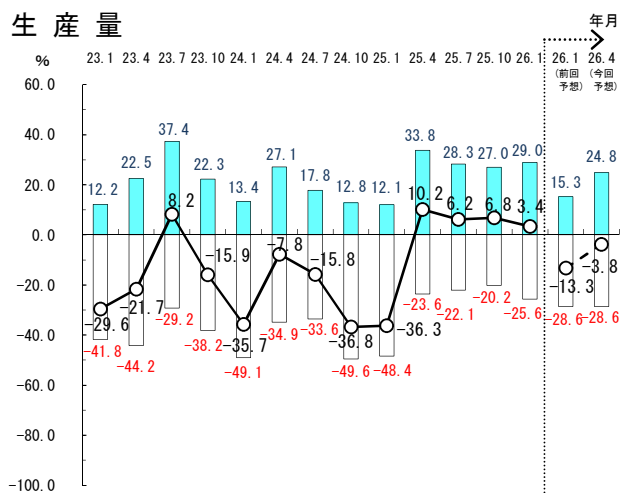
### 業界の業況



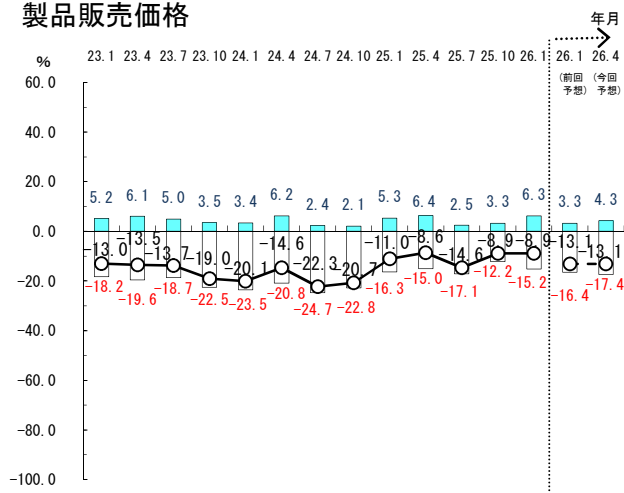
### 受注引合



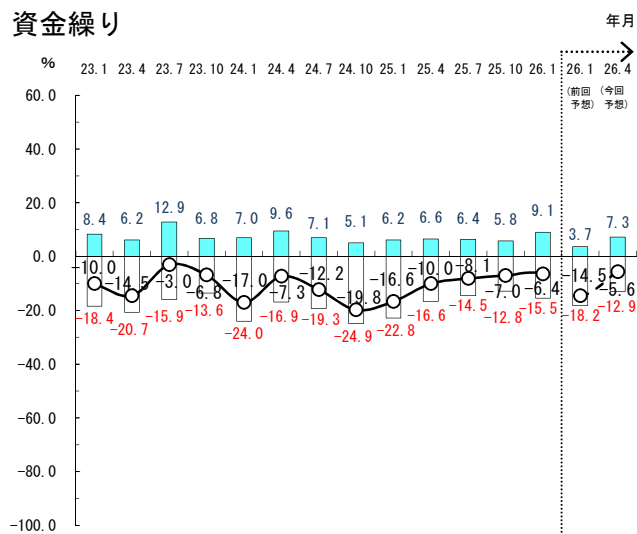
### 生産量



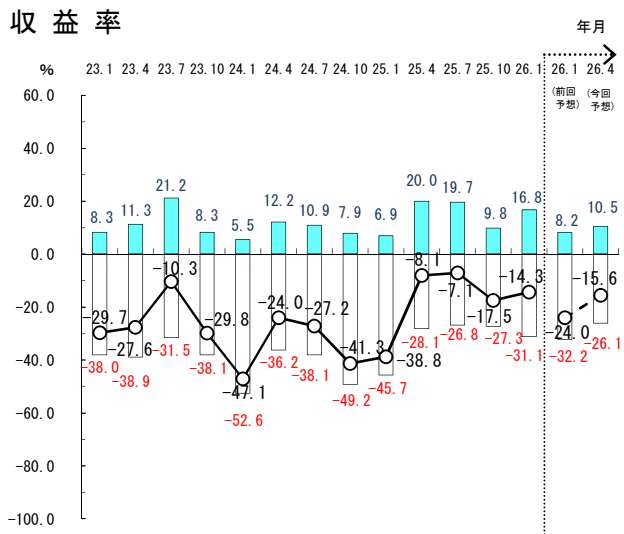
### 製品販売価格



### 資金繰り



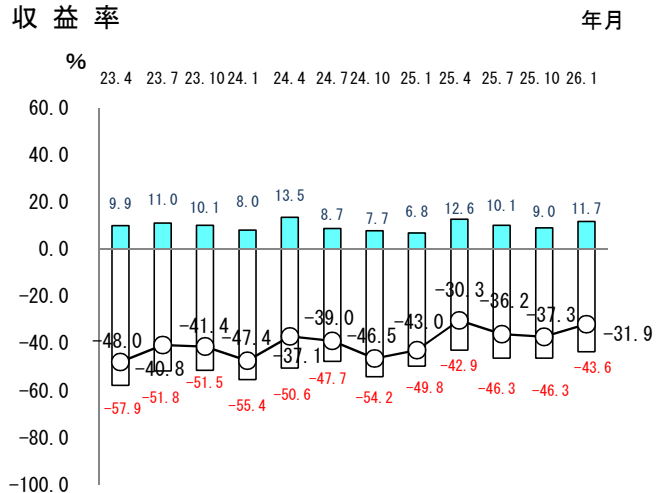
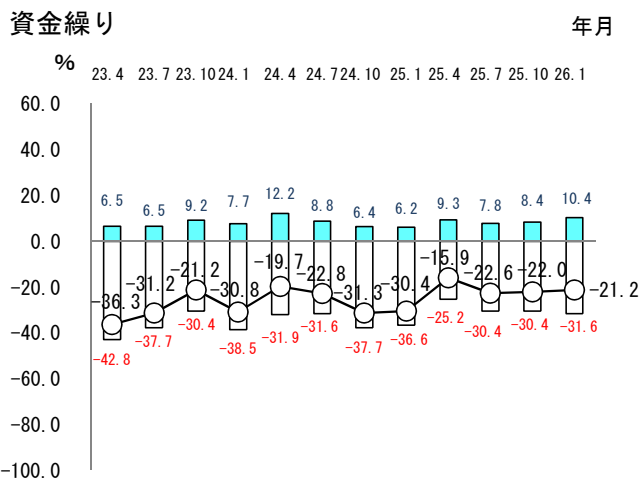
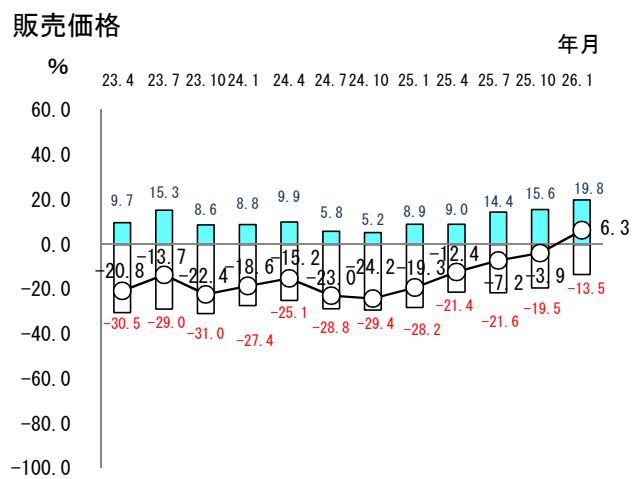
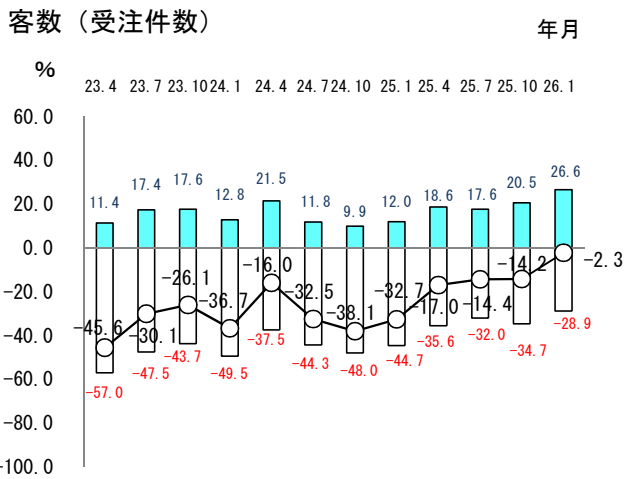
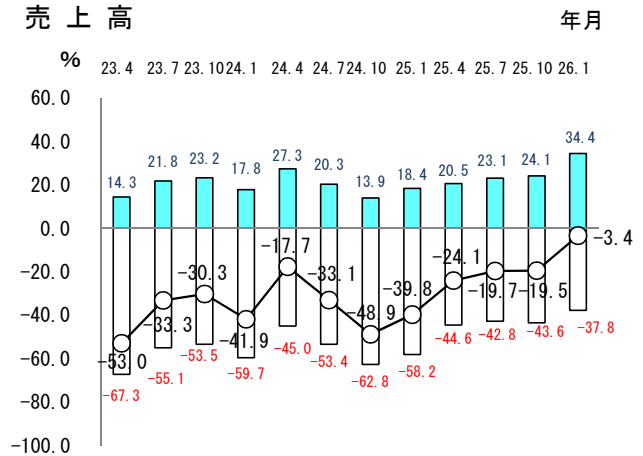
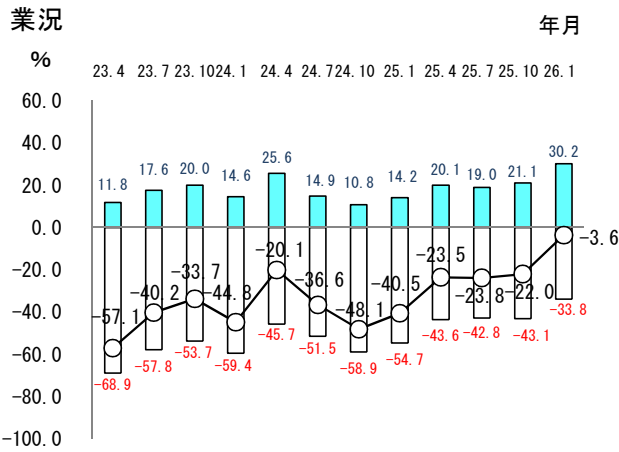
### 収益率



## 2 非製造業

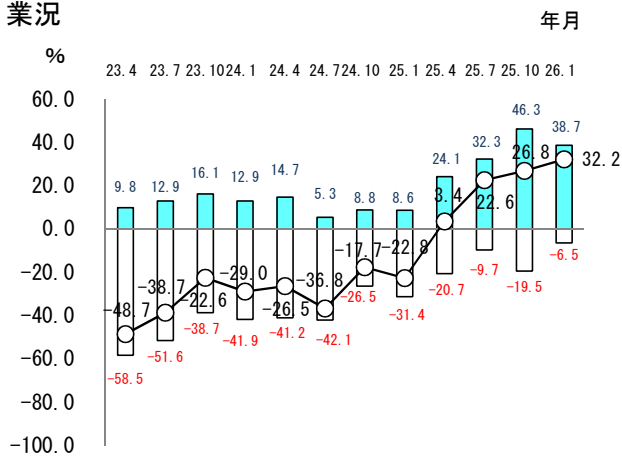
### (1) 前年同期に比べて

#### ア 非製造業全体

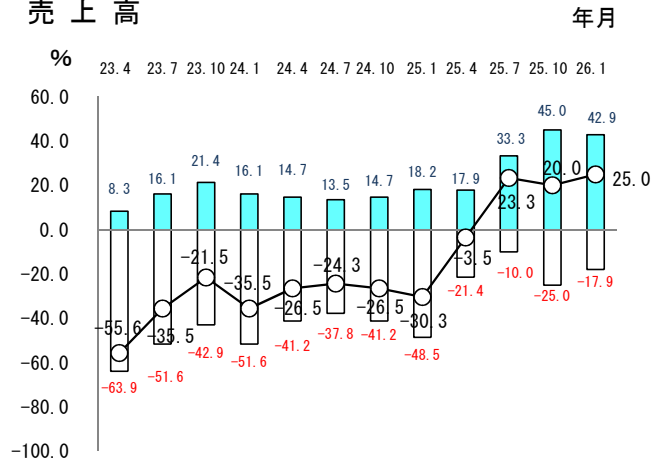


# イ 建設業

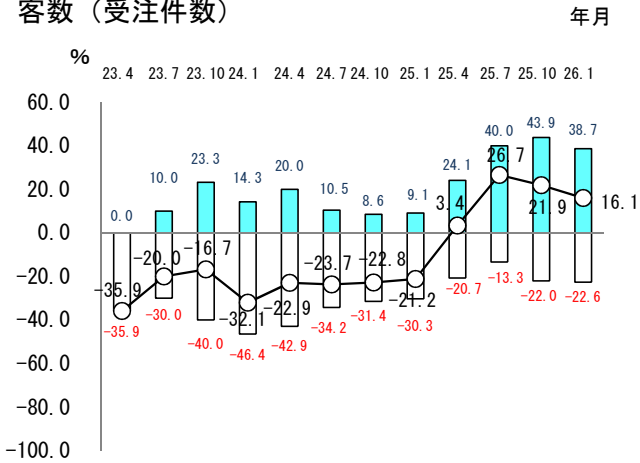
## 業況



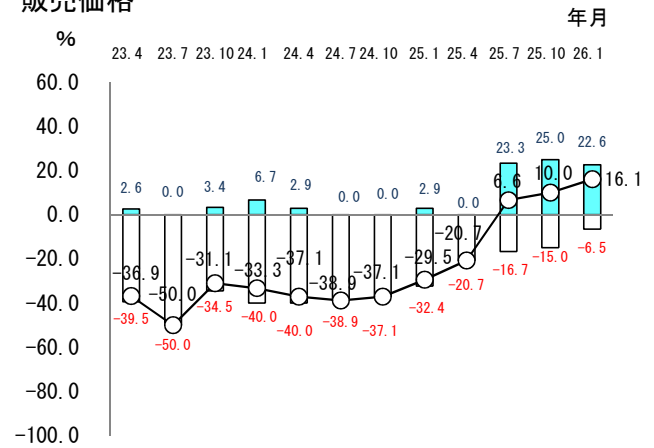
## 売上高



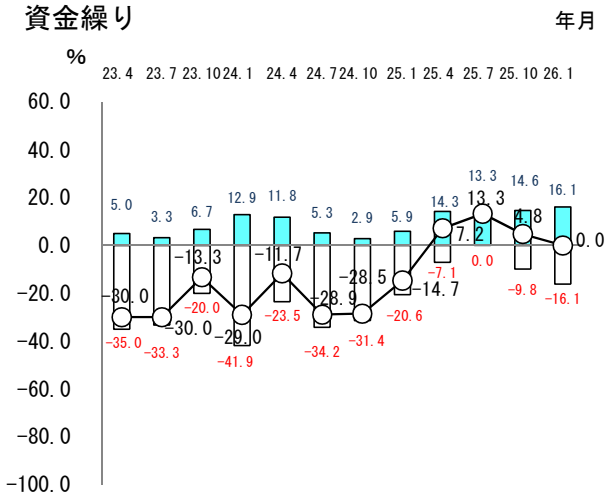
## 客数 (受注件数)



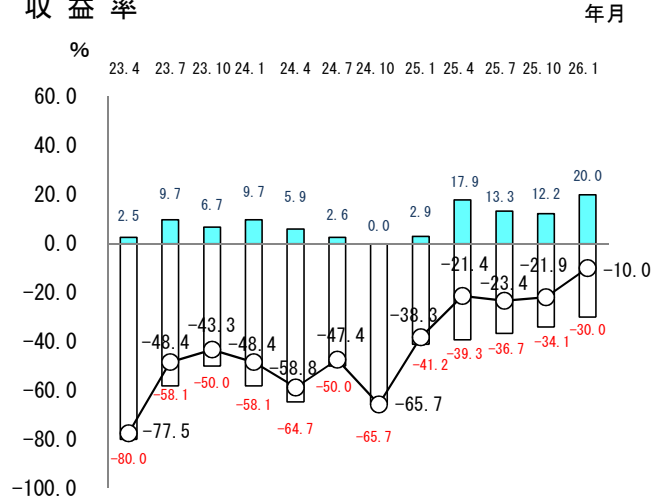
## 販売価格



## 資金繰り

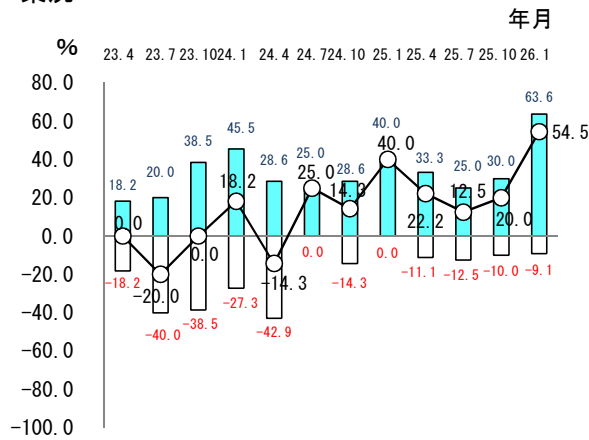


## 収益率

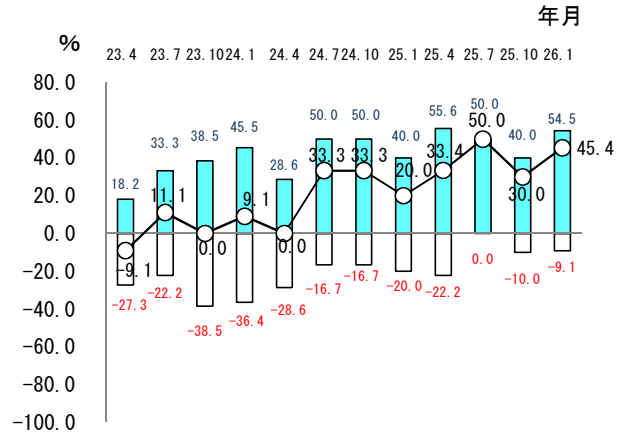


# ウ 情報サービス業

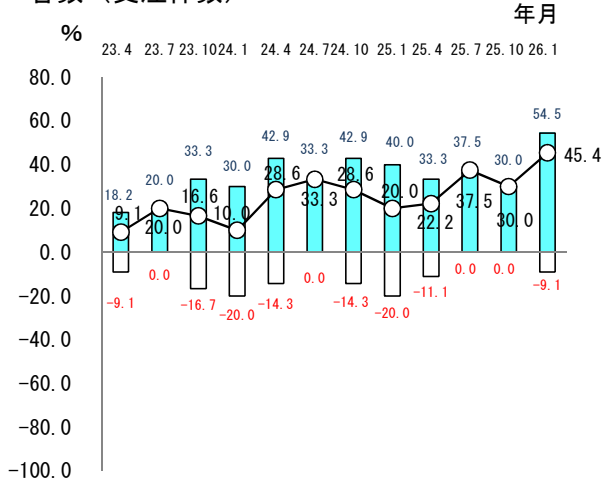
## 業況



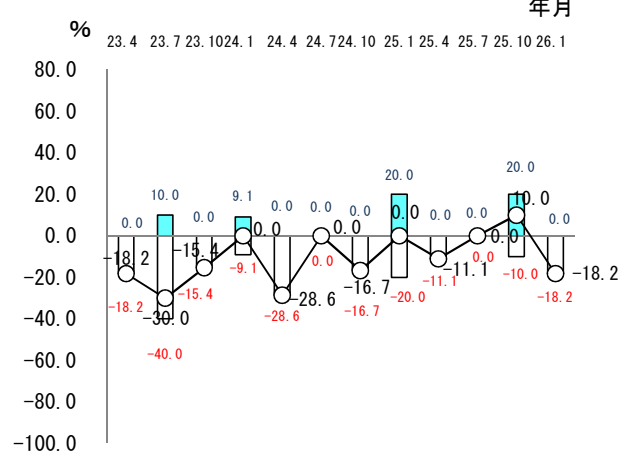
## 売上高



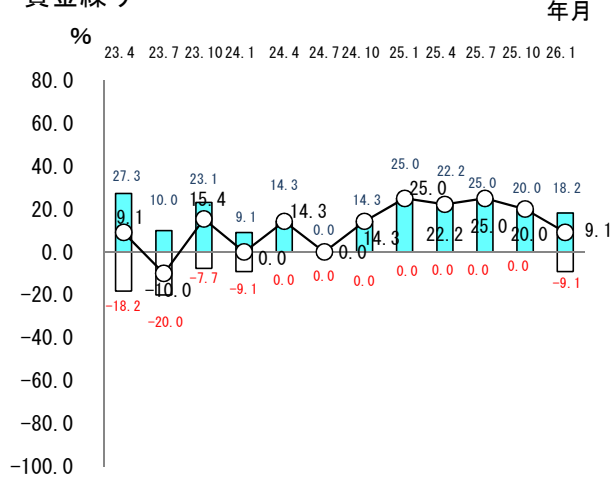
## 客数 (受注件数)



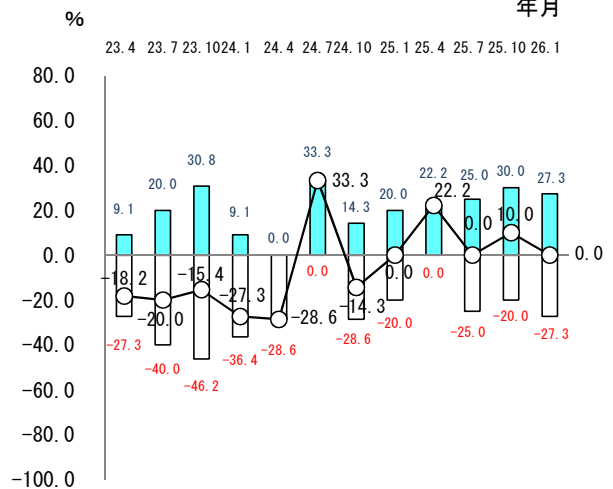
## 販売価格



## 資金繰り

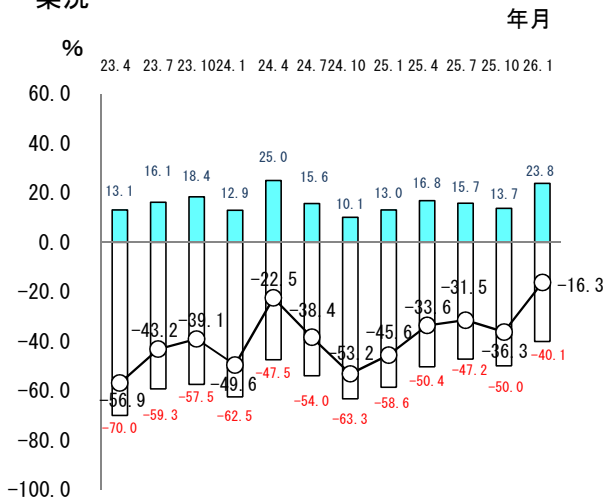


## 収益率

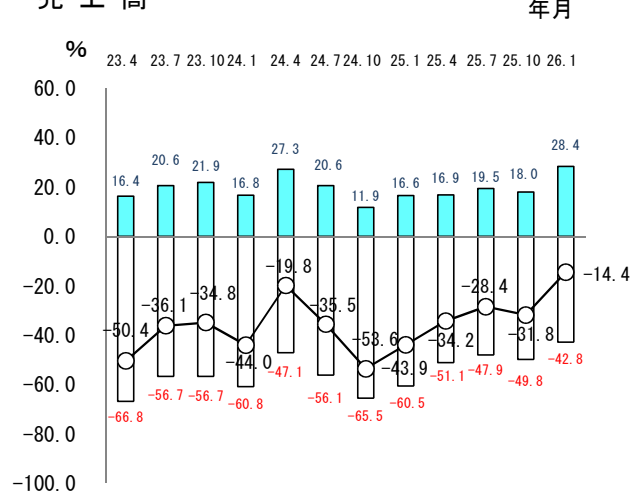


# 工 小売業・卸売業

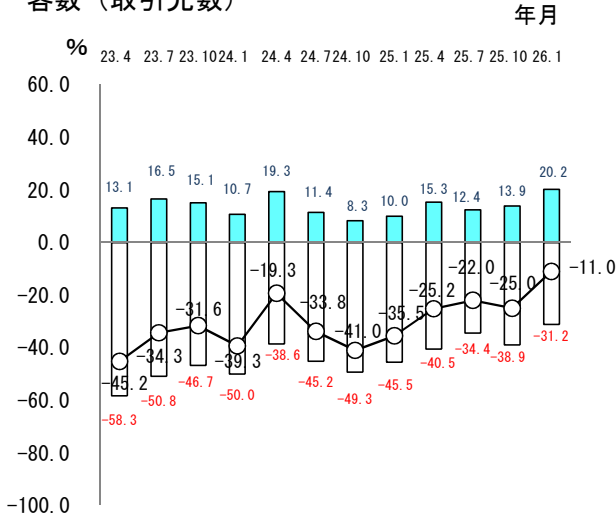
## 業況



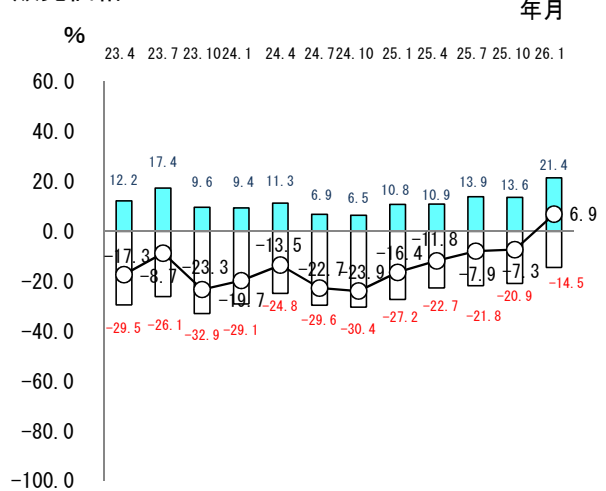
## 売上高



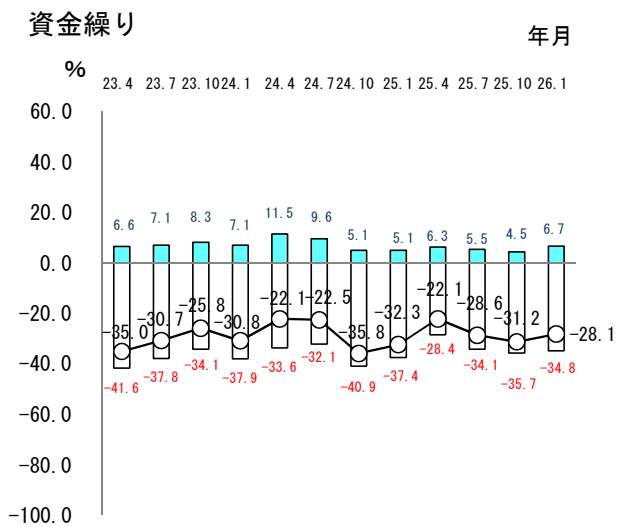
## 客数 (取引先数)



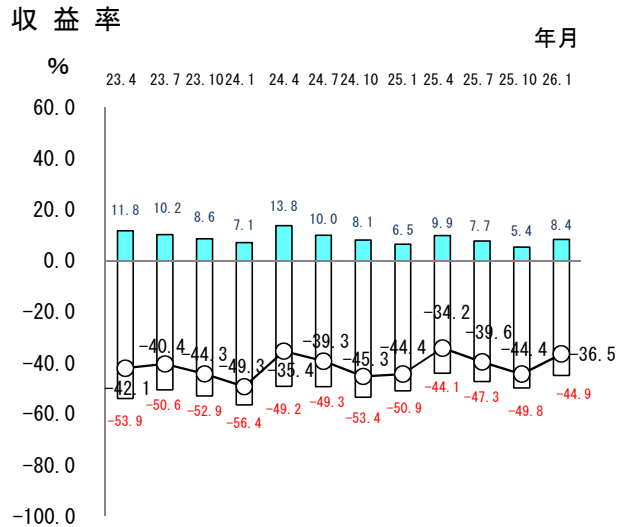
## 販売価格



## 資金繰り

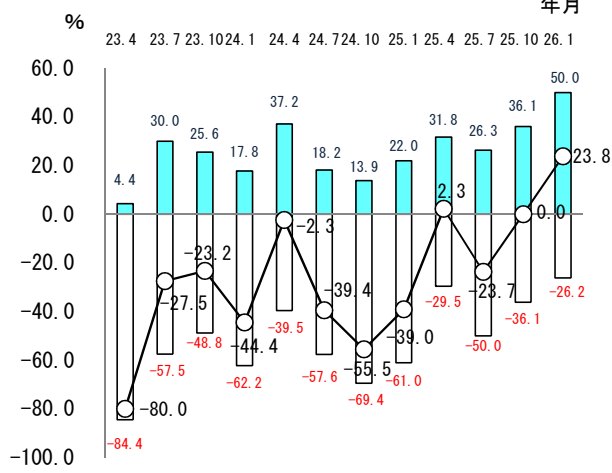


## 収益率

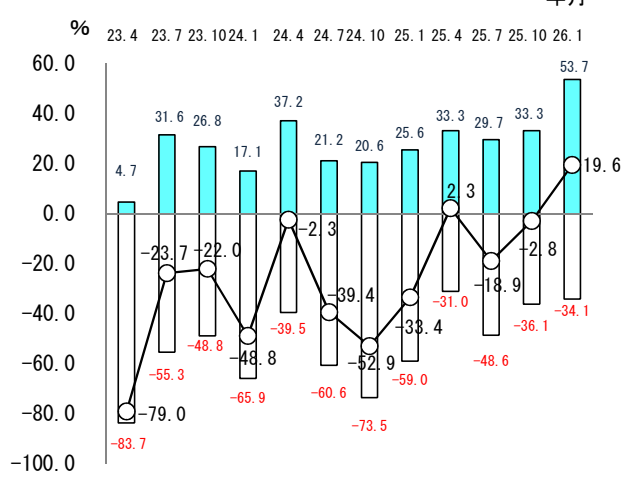


# 才 飲食業・宿泊業

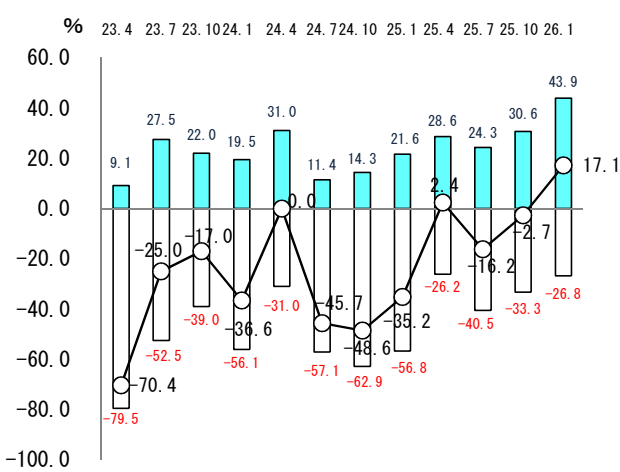
## 業況



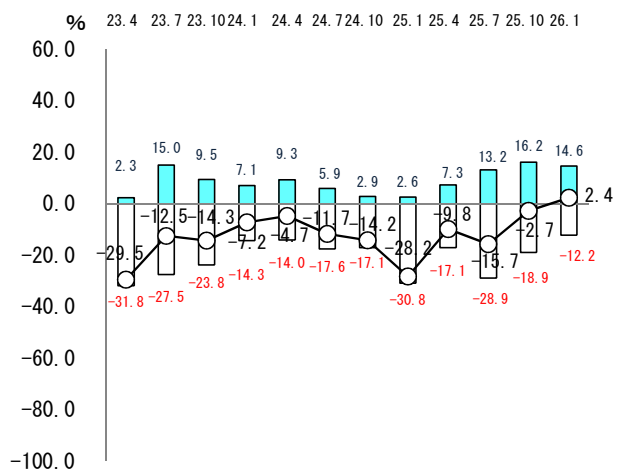
## 売上高



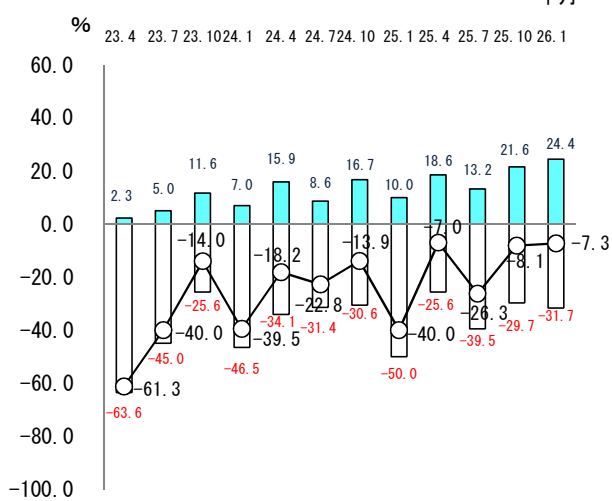
## 客数



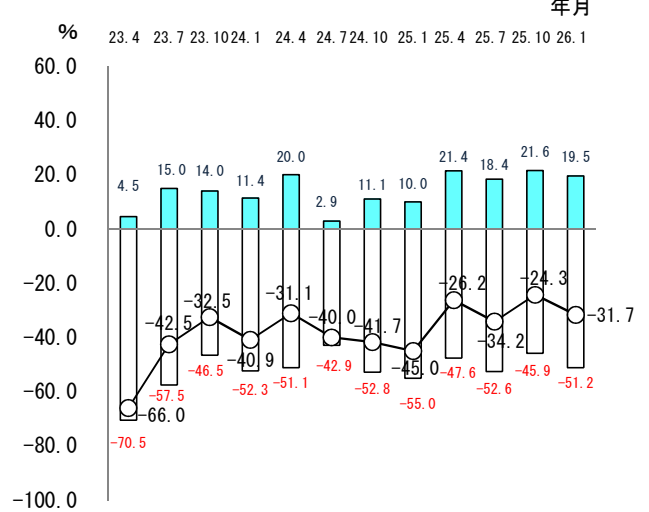
## 販売価格



## 資金繰り



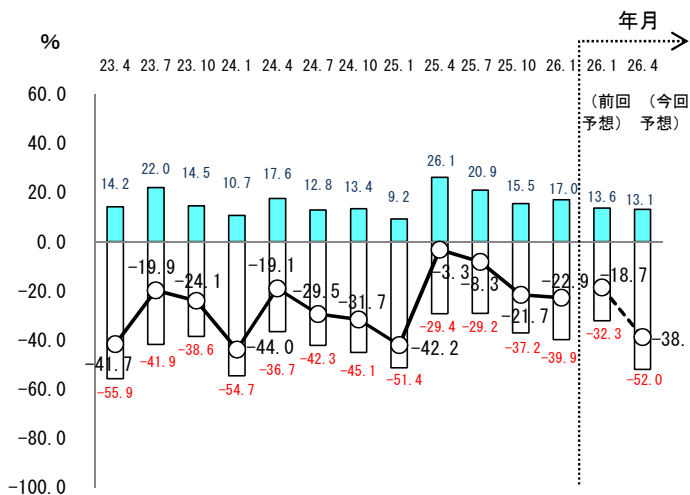
## 収益率



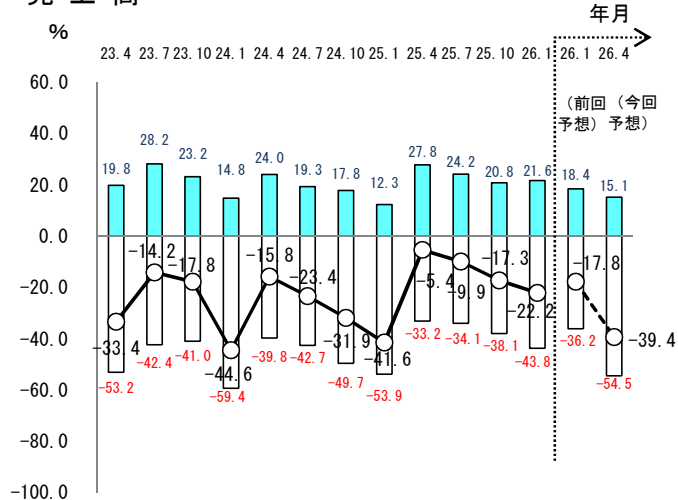
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

ア 非製造業全体

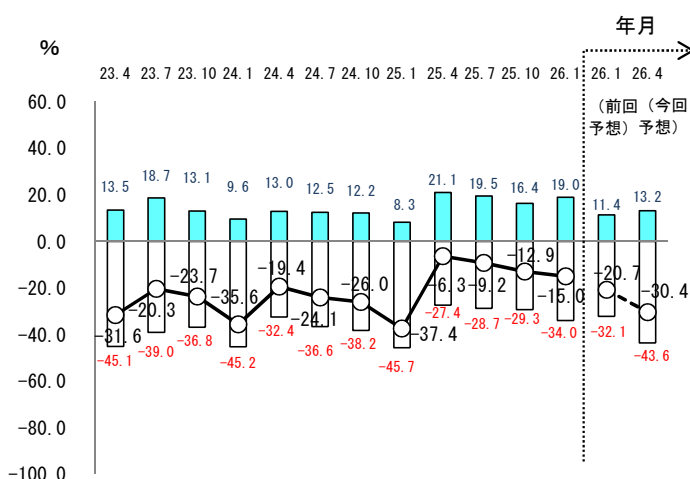
業況



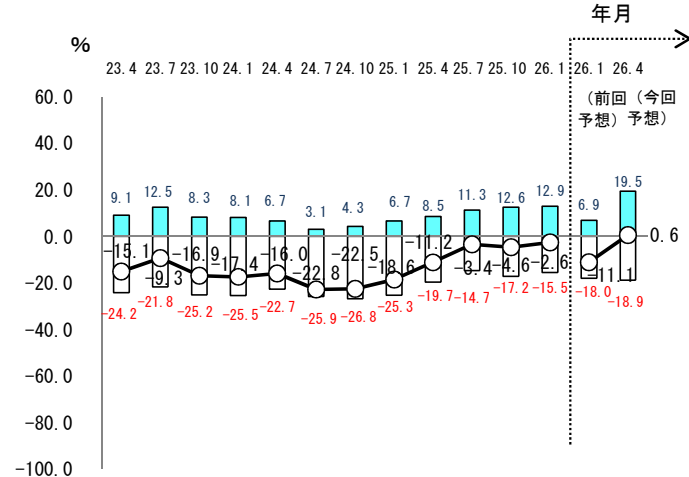
売上高



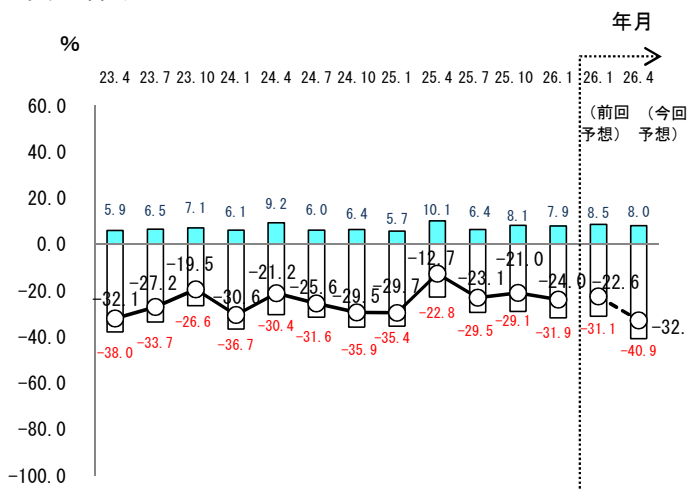
客数 (受注件数)



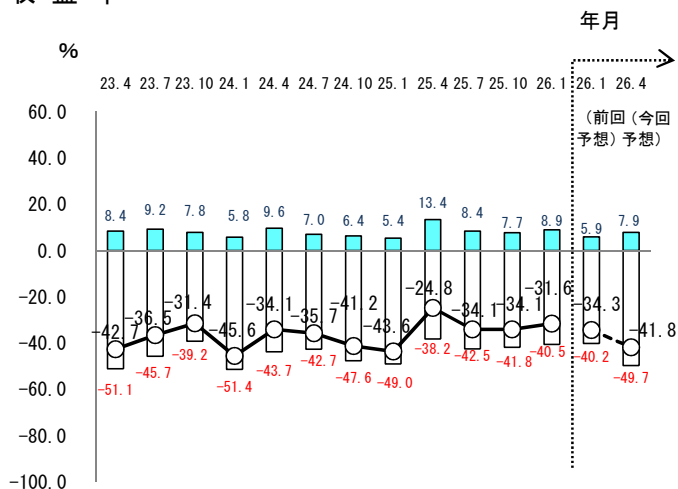
販売価格



資金繰り



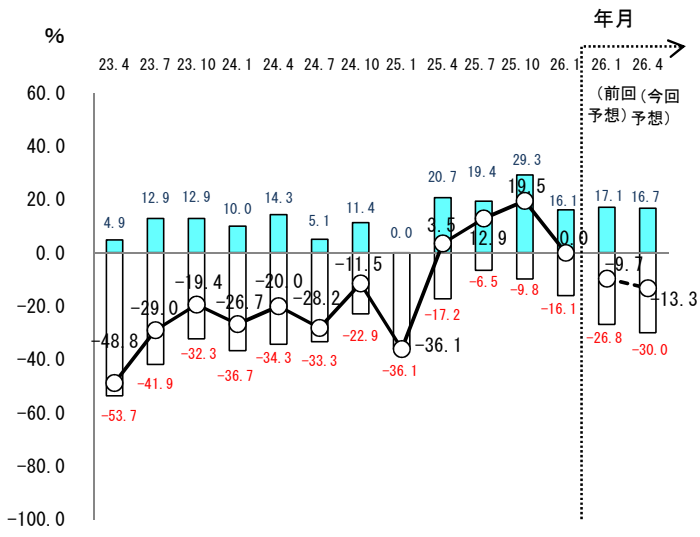
収益率



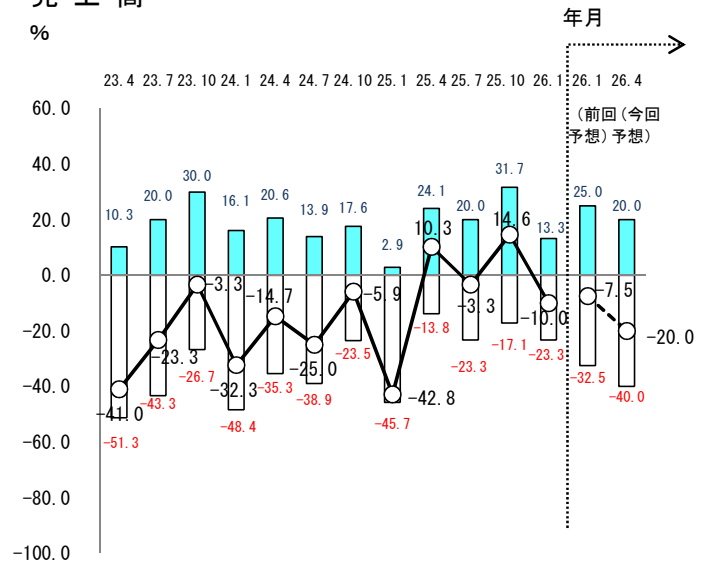


# イ 建設業

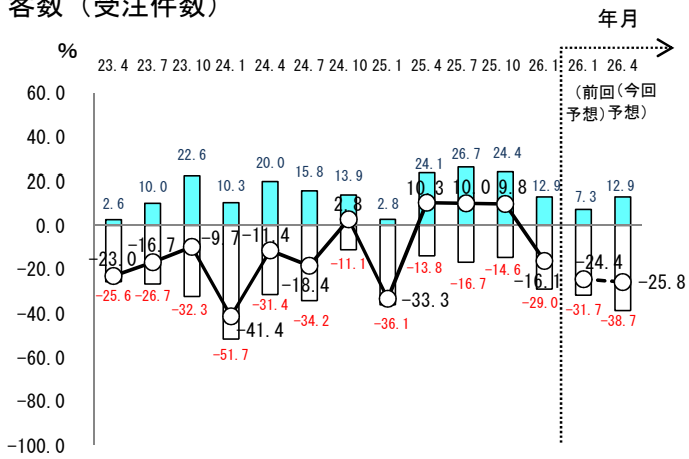
## 業況



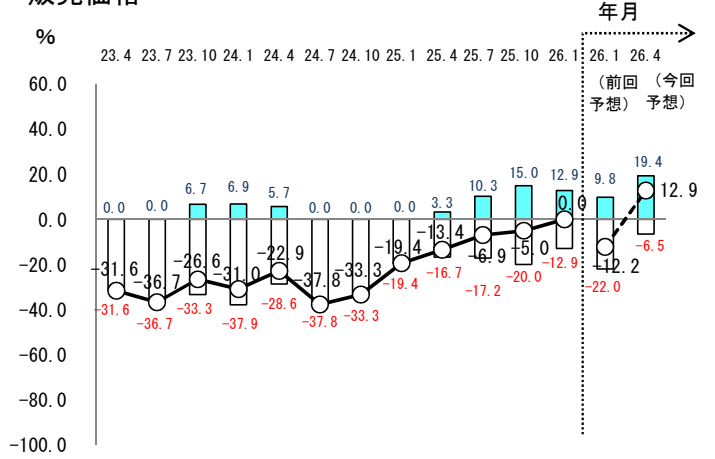
## 売上高



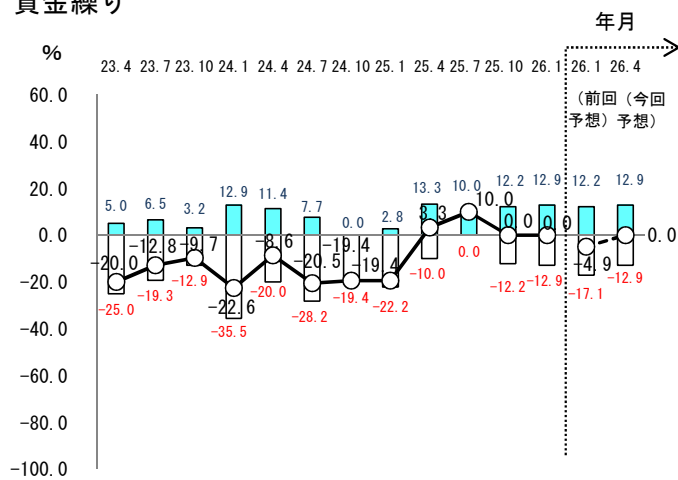
## 客数 (受注件数)



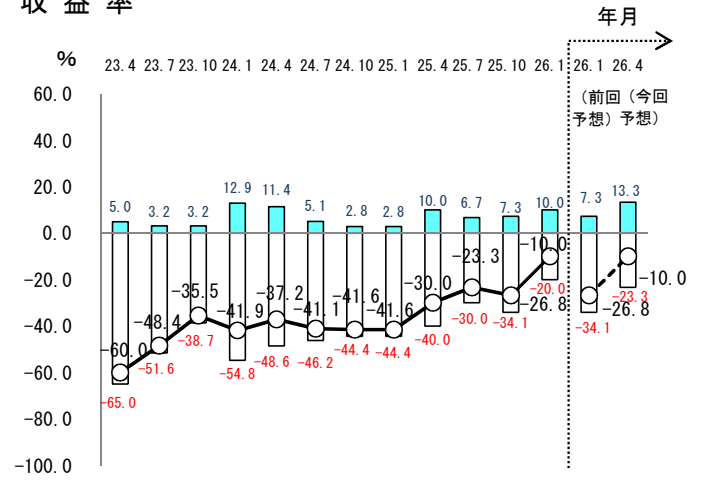
## 販売価格



## 資金繰り

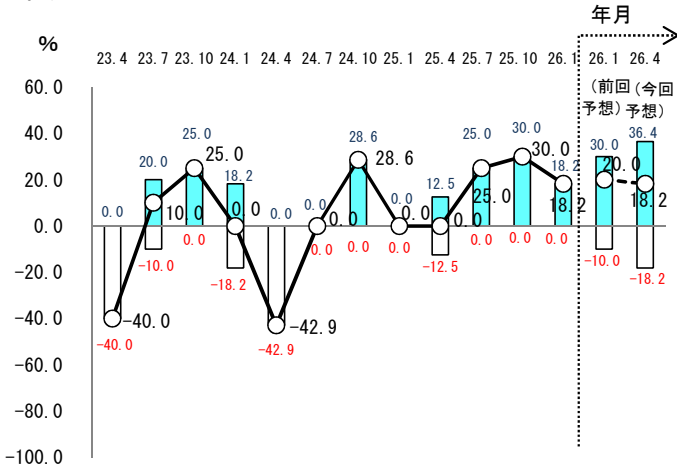


## 収益率

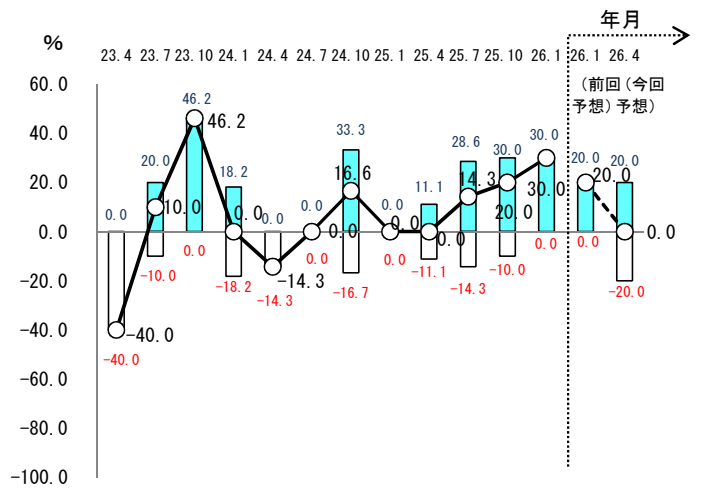


# ウ 情報サービス業

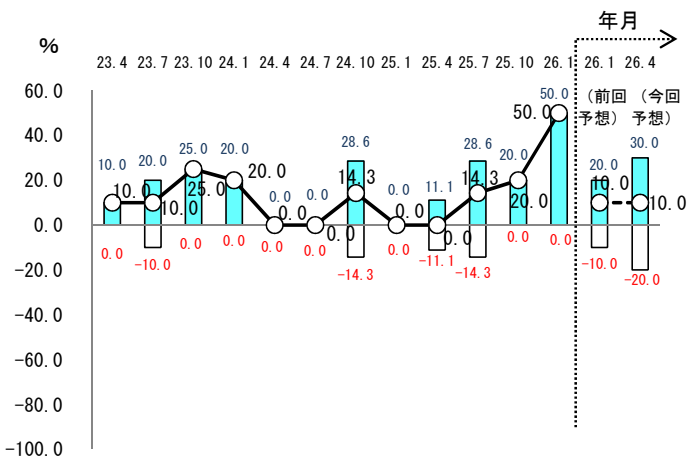
## 業況



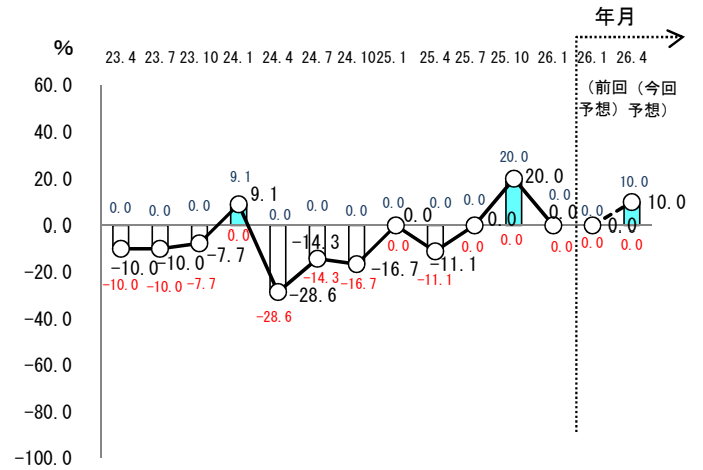
## 売上高



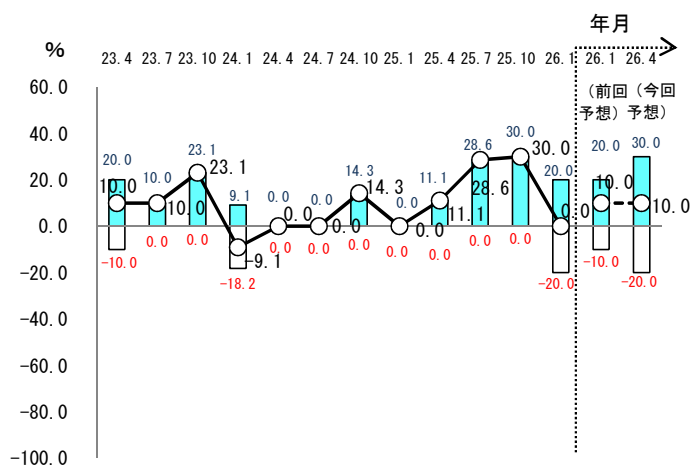
## 客数 (受注件数)



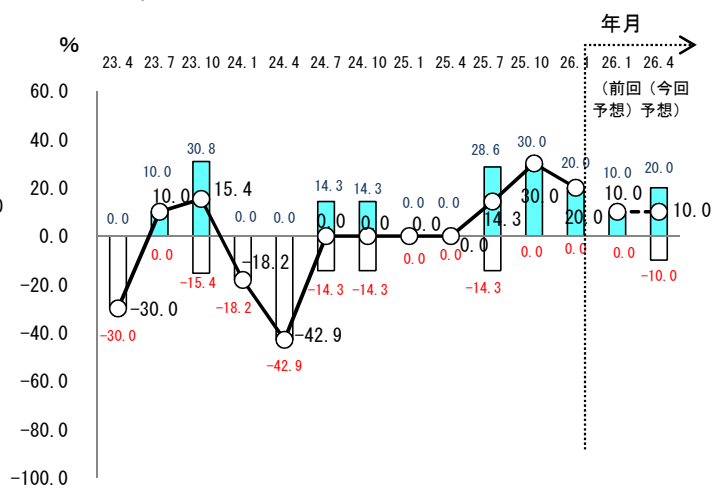
## 販売価格



## 資金繰り

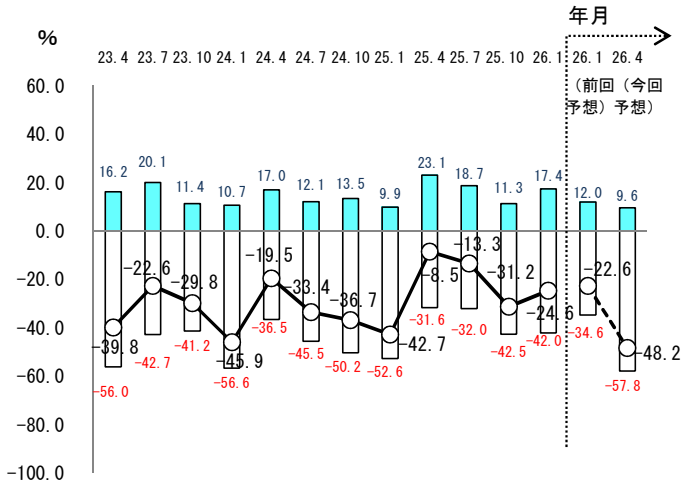


## 収益率

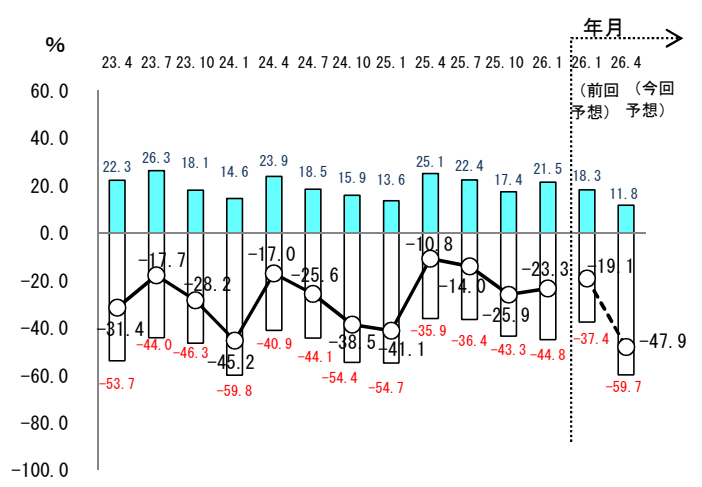


# 工 小売業・卸売業

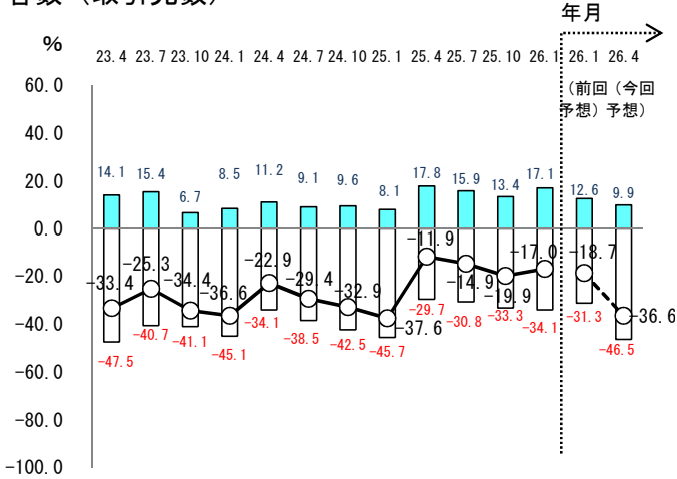
## 業況



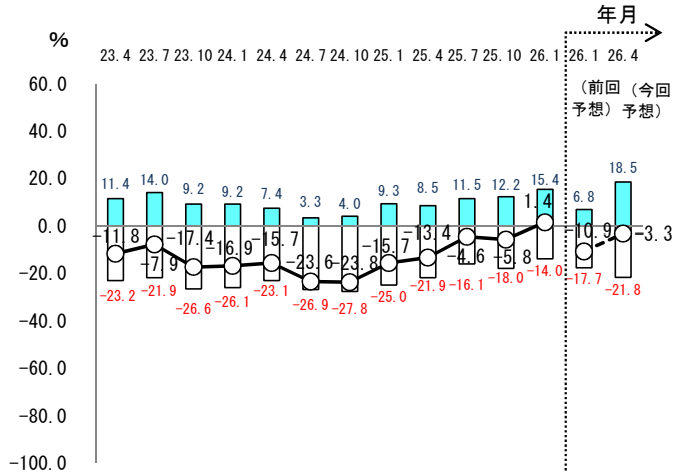
## 売上高



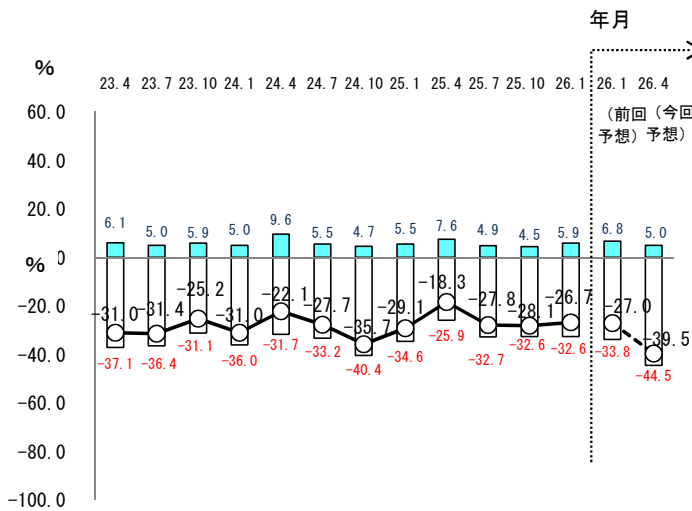
## 客数 (取引先数)



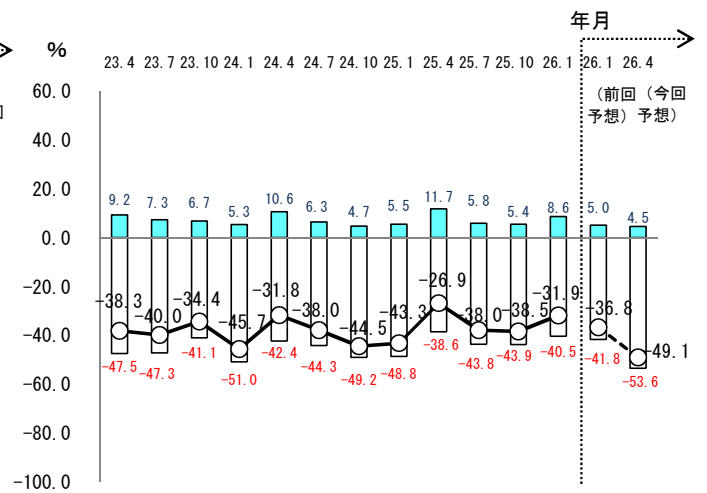
## 販売価格



## 資金繰り

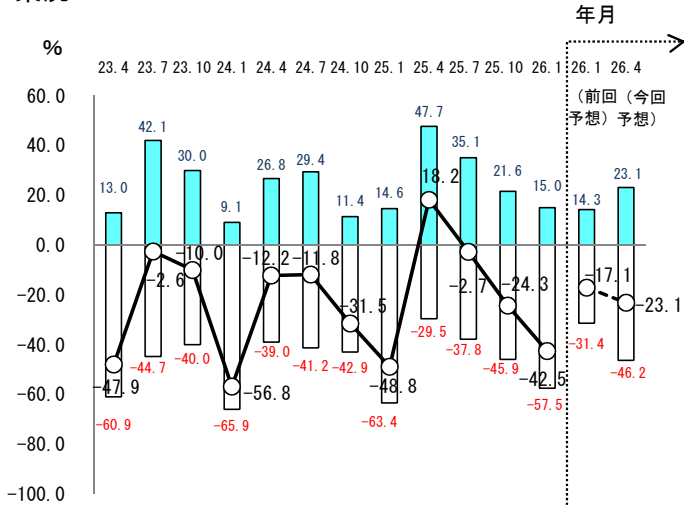


## 収益率

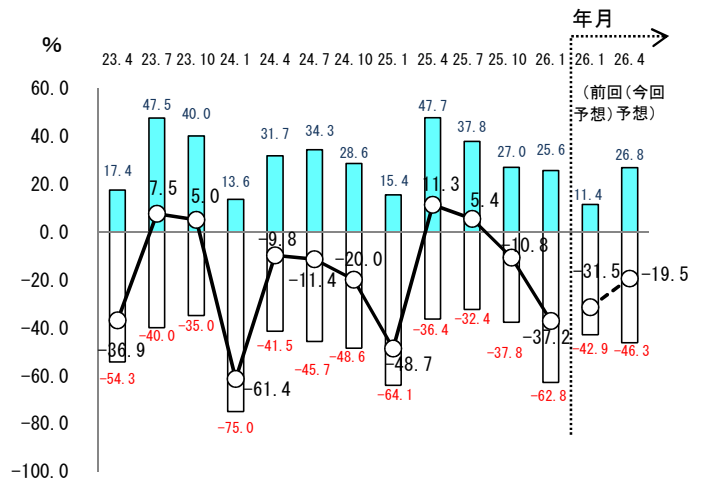


才 飲食業・宿泊業

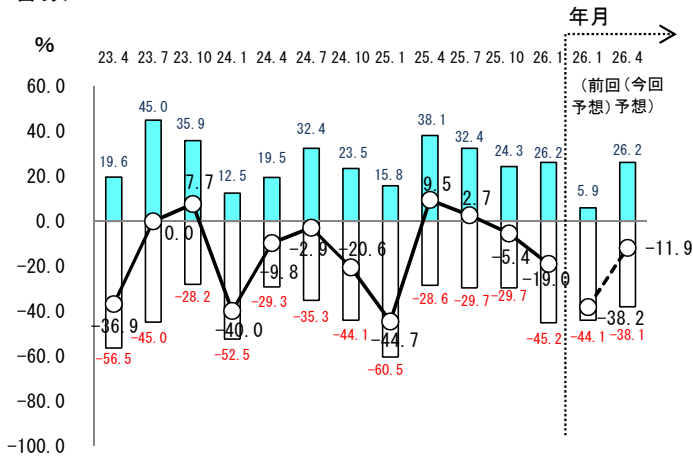
業況



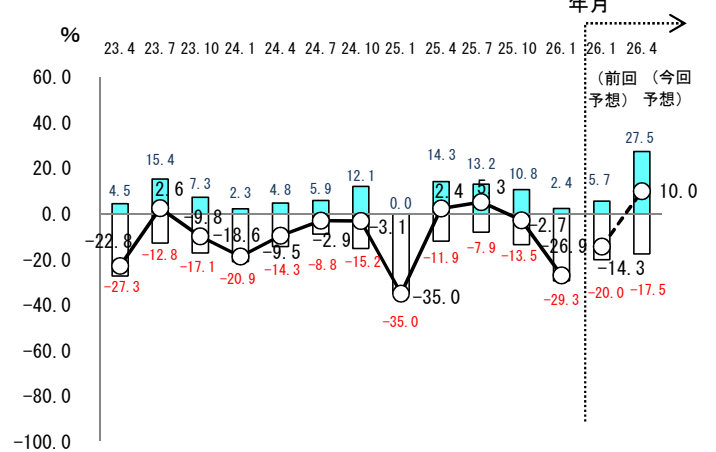
売上高



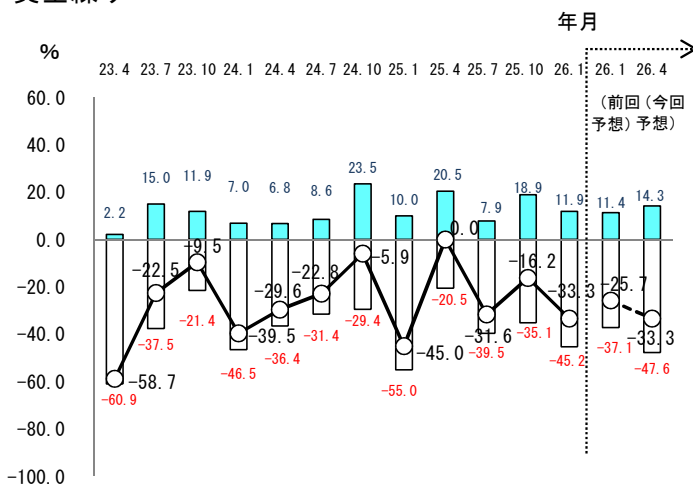
客数



販売価格



資金繰り



収益率

